



サン・プリンセス 2014年の日本発着クルーズに向け改装

プリンセス・クルーズの客船「サン・プリンセス」の3,000万USドルをかけた改装が始まった。2週間の改装期間で、目玉は、プリンセス・クルーズの代表的な設備「インターナショナル・カフェ」を増設して更に魅力が増すアトリウム、寿司レストランのオープン、ブッフェレストラン「ホライズン・コート」のアップグレード、「ロータス・スパ」の改装など。

現在、シンガポールのセンバワン造船所で行われている改装の様子を撮影した写真が [online drydock journal](#) で公開されている。写真は8月20日まで毎日更新される予定で、普段は見ることのできない改装の裏舞台や、モダンなアジアテイストの新たな船に生まれ変わるまでの過程を見ることが出来る。

「サン・プリンセスは今年、初の日本発着クルーズに就航した。その間に得たアジア的な要素と、プリンセスの代表的な設備の両方を採り入れた改装となる。過去にプリンセスの船の改装の過程をインターネットで公開し人気が高かった為、今回の改装の様子も一般公開する事にした。」とプリンセス・クルーズのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、ジャン・スワーツは語った。

今回の改装では、アトリウムの一角にプリンセス・クルーズの代表的な設備「インターナショナル・カフェ」を増設、座席を増やし装飾も新たに作る。今年、日本発着クルーズ限定で営業した寿司バーは好評につき常設の「海(Kai)寿司」としてリニューアルオープンする。「ホライズン・コート」は従来のブッフェに加え、その場で調理するエリアや、パストリーショップとコーヒーバーも登場、座席数も増やし、内装も新調する。人気の「スターリング・ステーキハウス」も洗練されたデザインでリニューアルされる。プールサイドのハンバーガーグリルは屋外バーベキュー施設に姿を変え、アイスクリームバーにはスペシャリティーコーヒーのメニューが加わる。「ロータス・スパ」も全面改装され、内装が新たになる。

改装完了後、サン・プリンセスはアジアとオセアニアクルーズに就航した後、2014年4月から2年目となる日本発着クルーズに就航する。

プリンセス・クルーズは、世界的なクルーズ会社として過去最大規模で日本市場への配船を決定。2013年は4～7月の3か月間、サン・プリンセスによる横浜発と神戸発の7コース9航海、「日本の美」再発見のクルーズを運航し、インターナショナルな雰囲気と、充実した日本語サービスや和食などのきめ細やかなサービスが大好評を得た。2014年はサン・プリンセスに加え、日本で建造されたダイヤモンド・プリンセスの2隻で、横浜、神戸、外国客船初の小樽をホームポートとして、5～11日間の日程で、合計42航海と、日本発着クルーズを更に拡大。既に販売を開始している。

以上